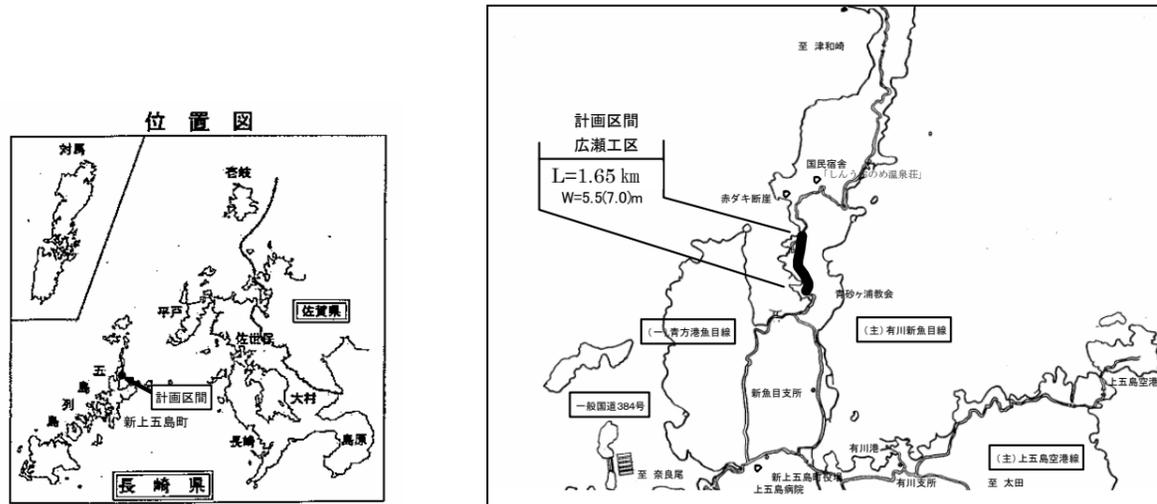


新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

担当課：九州地方整備局 地域道路課
 担当課長名： 世利 正美

事業の概要

事業名	主要地方道有川新魚目線 広瀬工区	事業区分	地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県南松浦郡新上五島町奈摩郷青砂ヶ浦 至：長崎県南松浦郡新上五島町曾根郷大根河原			延長	1.65 km
事業概要 主要地方道有川新魚目線は、新上五島町有川郷を起点として上五島北部を縦貫し立串郷に至る延長約1.4 kmの幹線道路である。広瀬工区は、新上五島町の北部と中心部を結ぶ道路の一部を構成し、上五島地域の活性化に大きく寄与する道路（1.65 Km）である。					
事業の目的、必要性 広瀬工区は、幅員が狭く線形も屈曲し車輛の離合が困難となっているため、安全かつ快適な自動車交通を確保することを目的に計画したものである。また、沿線には国指定重要文化財「青砂ヶ浦教会」国民宿舎「しんうおのめ温泉荘」があるため観光道路としての利用もあり、新上五島町の活性化に大きく寄与するものである。					
全体事業費	2.5億円	計画交通量	3,453台/日		
事業概要図 					

関係する地方公共団体等の意見
 地元の新上五島町は安全かつ快適な自動車交通による上五島地域の発展のため、主要地方道有川新魚目線の早期整備を県に要望している。
 県としても、市町村合併支援、離島医療支援の観点から整備は必要と考える。

事業採択の前提条件
 費用対便益： 便益が費用を上回っている。（B/C=2.7）
 円滑な事業執行の環境： 事業執行について地元新上五島町とは協議済みである。

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.7	総費用	22億円	総便益	59億円	基準年	平成18年	
			事業費	21億円	（走行時間短縮便益：55億円）				
			維持管理費	1.0億円	（走行費用減少便益：3.2億円）	（交通事故減少便益：0.50億円）			
感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.9	（交通量 +10%）		B/C=2.4	（交通量 -10%）			
	事業費変動	B/C=2.9	（事業費 +10%）		B/C=2.4	（事業費 -10%）			
	事業期間変動	B/C=2.8	（事業期間 +2年）		B/C=2.6	（事業期間 -2年）			
事業の影響	評価項目	評価	根拠						
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策							
		事故対策	○	交通事故発生箇所を解消（（物損,人身）H13:9件, H14:7件, H15:8件, H16:3件, H17:6件）					
		歩行空間							
	社会全体への影響	住民生活	○	医療施設へのアクセス向上（中通島北部から第2次医療施設上五島病院へ搬出時間を4分短縮）					
		地域経済	○	狭隘路の解消、市町村合併支援、フェリー発着港（有川港）へのアクセス向上（新上五島町への観光客数 H16 22万人）					
		災害	○	緊急輸送道路に指定、防災点検要対策箇所3箇所を解消					
		環境	○	自動車からのCO2排出量が削減される 842t-CO2/年 → 400t-CO2/年					
地域社会		○	日常活動圏中心地域へのアクセス向上						
事業実施環境	○	事業執行について地元の新上五島町と協議済みであるため、円滑な事業執行は可能である。							

採択の理由

費用対効果が2.7と便益が上回っていること、円滑な事業執行の環境が整っていることから事業採択の前提条件が確認できる。また、本事業の整備により、線形不良による事故多発箇所が解消されるとともに二次医療サービスの格差是正及び日常活動圏中心地域へのアクセス向上が図られることから地域経済への効果は高いと判断できる。
 以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。